

SANS FRONTIÈRES

vol.41

水戸葵陵高等学校ホームページ <http://www.kiryu.ac.jp/>

国際医療福祉大学出張講義

11月7日、1、2年生を対象に国際医療福祉大学から3名の先生をお招きして出張講義を開講しました。

【医療福祉・マネジメント学科 山本 康弘先生】

講義タイトル：きっと見つかる！自分にあった専門職 —医療福祉のスペシャリスト—

医療福祉の各専門職について、仕事内容や必要な資格、求められる適性、心構えなど、医療福祉全般について解説して頂きました。2年生は自分の進路選択が決まりつつある中で、各専門職の内容を理解することで、チーム医療におけるそれぞれの役割を学ぶことができました。1年生は、各専門職を理解することで、自分の適性を考えた上で、今後の進路選択に役立ててほしいと思います。

【薬学部薬学科 藤井幹雄先生】

講義タイトル：ビタミンのはなし

ビタミンの種類とそれを多く含む食品、そしてその化学構造と機能についての紹介でした。講義では一斉講義だけでなくその場で4人程度のグループをつくり、ビタミンクイズにチャレンジしました。医療系大学の教育では医療の知識だけでなくさまざまな出来事を的確に判断し対応する力が求められるため、対人関係スキルや問題解決能力などの育成が重視されています。グループで学ぶ「チーム基盤型学修」を通じて、人とコミュニケーションを取る力を養ったり、1人では答えを見いだせない問題でも、チームで協力してより妥当な答えを導き出すことが大切であると学びました。

【医学検査学科 工藤 芳子先生】

講義タイトル：世界で健康を作る仕事 —臨床検査技師—

工藤先生には、医療職全般の話から、自身の臨床検査技師の役割についての話をしていただきました。その中で、フィリピンやアフガニスタン、アフリカ地域などの開発途上国での経験について、そして、そこでどのような支援を先生個人が、または日本が行ってきたのかについて、事例や体験に基づいてお話していただきました。生徒達は、臨床検査技師への理解を深められたとともに、普段とは違う角度から医療について考えることができた貴重な講演となりました。



おめでとう！

令和元年度茨城県医師会高校生作文コンクールにおいて、
2年1組 大田雪菜さんが、佳作に入選し、11月10日には表彰式が行われました。
大田さん、おめでとうございます！

県内国公立大学進学情報

11月初旬に、高校向けに県内国公立大学の入試情報交換会が行われました。以下はその内容の報告です。英語については外部試験導入延期や記述問題見直しの報道もあったところ。各大学がどのように入試対応していくのか、今後も最新情報を得るように心がけましょう。

ポイント

- 英語外部試験については、共通テストとの併用はなくなったものの、みなし得点化や出願要件として利用する大学があるので、出願校によっては積極的に受験した方がよい。
- 一般選抜では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度(主体性等)」を評価することが義務付けられている。それぞれの大学の対応を知っておこう。

【茨城大学】

① 英語外部検定試験の取り扱い

一般選抜での加点はない。ただし、人文科学部では調査書の一部として評価対象になり、工学部では英語の個別学力試験(二次試験)に代わるみなし得点として利用することができる。また、学校推薦では推薦の要件として扱われるのはこれまでと変更がない。

② 主体性の評価

自己申告チェックシートと調査書の記述を基に 50 点満点で評価される。中でも重要視されているのが「振り返り」「課題発見」「学び」ができたか示す点。

③ 探究活動評価

令和3年度、理学部理学科の4コースで行われる総合型選抜においては探究活動を評価する方針。

【茨城県立医療大学】

① 英語外部検定試験の取り扱い

一般選抜での加点はなし。

② 令和3年度において、主体性の扱い

従来通り、調査書と面接にて判断。さらに、学校推薦型選抜においては、集団討論を実施する。

下記の項目(1)から(4)のすべてについて、自分の判断でチェックをつけて、必要事項を入力してください。

(1) あなたが高校(中等教育学校後期課程)時代に、最も熱心に学び向き合ったものを一つだけ選んでチェックしてください。さらに下の例にならって、具体的な事項を一つ入力してください。

例：学習活動(英語学習)、部活動・ボランティア活動(野球部)、生徒会・学校行事等(文化祭実行委員会)、その他の活動(アメリカボストンに4週間留学)、取得した資格・獲得した賞(数学検定2級)

1. 学習活動	()
2. 部活動・ボランティア活動	()
3. 生徒会・学校行事等	()
4. その他の活動	()
5. 取得した資格・獲得した賞	()

【筑波大学】

① 総合選抜の新規実施

② 外部検定試験について

一般選抜での加点はない。学校推薦型選抜では総合評価に含まれる。

③ 令和3年度主体性の評価について

従来通り、調査書と面接で評価。調査書に配点がある。具体的には50点満点のうち、(1)学習への態度(2)行動傾向(3)ボランティア・部活動を併せて2/3、(4)取得資格(5)その他で1/3の配分。

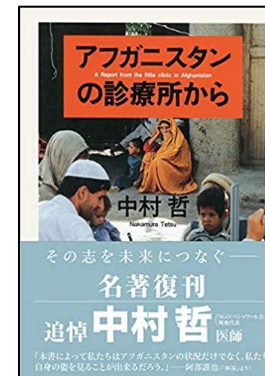
ただし、部活動での賞は評価されず、入部していることが評価される。ただし、英語の外部試験はCEFR規定で学部によってB2~C1以上が評価対象とされ、特別活動実績については国際生物学オリンピックや国際科学オリンピックでの入賞など、要求されるレベルは非常に高い。

④ 探求学習について

学校推薦型選抜において、それぞれの学部の研究内容に合った探求学習をしていることが要件として提示される。

CEFR	ケンブリッジ 英語検定 Cambridge English Qualifications	実用英語技能検定 1級-3級	GTEC Advanced Basic Core CBT
C2	230 200 (210)		
C1	199 180 (190)	各級CEFR 算出範囲 3299 2600 (2630)	各試験CEFR 算出範囲 1400 1350 (1400)
B2	179 160 (170)	2599 2300 (2304)	1349 1190 (1280)
B1	159 140 (150)	2299 1950 (1980)	1189 960 (1080)
A2	139 120 (120)	1949 1700 (1728)	959 690 (840)
A1	119 100 (100)	1699 1400 (1456)	689 270 (270)

推薦図書



中村 哲(著) アフガニスタンの診療所から (ちくま文庫)

アフガニスタンにおいて人道支援と復興に携わってきた医師の中村哲先生が銃殺されるという衝撃的なニュースがありました。こちらの本はアフガンやパキスタンで医師として尽力した中村さんの活動を描いた1993年に出版された本です。国際協力とは、現地の人たちと協力し生活することだと、自らの経験をもとに語っています。疾病ケガを診るだけでなく、地域支援を通して地域のQOLを改善することに全力を注いだ中村医師の活動を学んでみてはいかがでしょうか。